

新たな戦前にさせない。いのち、くらし、平和を守ろう！

大阪憲法会議スポット（例）2023年5月2日

みなさん、私たちは、〇〇です（「戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす〇〇」など）です。本日はこの場をお借りして、憲法改悪と「大軍拡・大増税に反対する署名」に取り組んでいます。岸田首相はいま、大増税をしてまで、かつてない規模で軍事費を増やそうとしています。こうした軍拡と戦争準備は、新しい戦前をつくることにつながります。平和とくらしを壊す大軍拡・大増税をとめましょう。あなたもぜひ署名にご協力をお願いします。

大軍拡、大増税に反対！憲法を守り、いかす政治を！

みなさん、5月3日は日本国憲法の施行を記念する「憲法記念日」でした。全国で、大阪でも憲法記念の日に「憲法を守り、くらしにいかそう」とたくさんの市民による集会やパレードが行われました。みなさん、いま、岸田内閣のもとで憲法を実質的に変えてしまう動きが強まっています。岸田政権が大軍拡・大増税を強行して、アメリカといっしょに戦争する国に突き進もうとしているからです。日本を新たな戦前にする、こんな危険な動きに反対するために、たくさんの声を集め、ごいっしょに憲法をいかして、いのち、くらしを守る政治を実現しましょう。

みなさん、岸田政権は、これまでの自民党政府が「わが国の防衛の基本的な方針」としてきた専守防衛をふみにじり、「戦争する国づくり」から「戦争を準備する国」へふみこもうとしています。昨年12月、閣議決定した安保関連3文書に基づいて「敵基地攻撃能力」の保有、つまり、米軍と一体となって相手国に攻め込むための能力を持つとしています。

敵基地攻撃は、日本が攻撃されていなくても、相手国を攻めるという先制攻撃です。これは憲法9条の「戦争の放棄」「戦力不保持」に明らかに違反するものです。現在の自衛隊は、安保法制（戦争法）によって日本が攻撃されなくても、米軍と一体となって武力行使することも可能になっています。そんな日本が敵基地攻撃能力を持つことは、東アジアでの軍事的な緊張を一気に高めることになります。岸田首相は「自分の国を自分で守るため」といいますが、アメリカと一体となって、敵基地攻撃、つまり先制攻撃をおこなえば、間違いなく、その報復を受けるのは日本です。

「戦争する国」から「戦争準備国」への道をとめよう！外交のちからで核兵器禁止を！

岸田首相は「台湾有事」や北朝鮮のミサイル発射など、いたずらに危機をあおり、安保3文書の具体化を急激にすすめようとしています。日本全土が戦場となることを想定し、全国約300の自衛隊基地を核兵器、生物、化学兵器による攻撃に耐えるよう、地下化、強じん化する準備をすすめています。また、南西諸島でのミサイル基地建設強化、ミサイルを保管する大型弾薬庫の全国的な建設など、まさしくアメリカ言いなりに戦争準備国への道を突きすすんでいます。

それだけではありません。武器輸出のルールを変えて、ウクライナに「殺傷能力のある」武器輸出を解禁させようとしてしています。憲法9条を持つ日本は、武器の供与ではなく、非軍事の人道的な支援に徹するべきです。日本に求められているのは「戦争の準備」ではなく、対話と外交による「平和の準備」です。

5月19日から広島で首脳会議（G7）サミットが開かれます。いま、大切なのは、軍備の拡大や核

兵器依存の悪循環から抜け出し、平和的な外交のなかで安全保障の枠組みをつくる協議です。岸田首相は日本国憲法と国民、被爆者の願いからしても、核兵器使用の禁止を訴え、核兵器禁止条約の支持と参加の意思を率先して示すべきです。

憲法にもとづく政治。国民の声をきく政治に変えよう！

物価の高騰が暮らしと営業を直撃し、国民の暮らしが大変です。そんななかでも、岸田政権は大軍拡に暴走し、2023年度予算では、軍事費が6.8兆円と過去最高になりました。さらに、今後5年間で軍事費を2倍に増額し、世界第3位の軍事大国化をめざそうとしています。

そのための財源として、国民に「軍事費増額のための増税」をおしつける軍拡財源確保法を国会で審議しています。復興特別所得税を軍事費に流用し、また「防衛力強化資金」を創設して、医療や年金のために積み立ててきたお金を軍事費に流用することなどもねらっています。とんでもないことです。大軍拡をすすめる財源のために国民を犠牲にしたり、大增税を求めることなど、絶対に許すことはできません。

みなさん、いま、憲法改悪の動きも強まり、極めて危険な事態となっています。現在、開催されている通常国会では、改憲を求める議員が衆参両院で3分の2を占め、憲法を変えることを目的として憲法審査会が毎週開催されています。維新などは、今国会最後の憲法審査会に間に合うように条文案をまとめたなど、憲法改悪をせかしています。審査会の議論は、憲法を変えて、戦争できる国づくりをすすめるためのものです。日本国憲法が示してきた、そして国民に支持されてきた平和、人権、民主主義の理念をいかした社会の実現は、まったく議論されていません。

危険な憲法改悪の動きとともに、岸田政権は、今国会で軍需産業に血税をつぎ込む軍需産業支援法、入管法改正案、健康保険証を廃止してマイナンバーカードと一体化するマイナンバー法改定案や60年超えの原発運転を可能にする原発推進5法案などのたくさんの悪法を強行しようとしています。また、日本学術会議に対し、武器開発など軍事面での研究を推進して、政府に従わせようとする、日本学術会議法改悪案を今国会に提出しようとしてきました。しかし、政府批判をおさえこもうというこの露骨なねらいは、多くの国民の反対で断念させることができました。

岸田内閣の軍事への暴走は、まさに「新しい戦前」といわれる状況です。しかし、私たちが声をあげればこの危険な動きを止めることができます。安保3文書の閣議決定撤回、岸田政権が進める大軍拡と大增税、改憲ストップ！ かずかずの悪政推進の「岸田政権は退陣」とご一緒に声を上げていきましょう。

いま「大軍拡・大增税に反対する署名」へのご協力をお願いしています。どうぞ足を止めていただき、憲法を守り生かした新しい政治をつくってほしいという願いを「大軍拡・大增税を許さない全国署名」へお寄せください。